



## 受け継がれる住まい

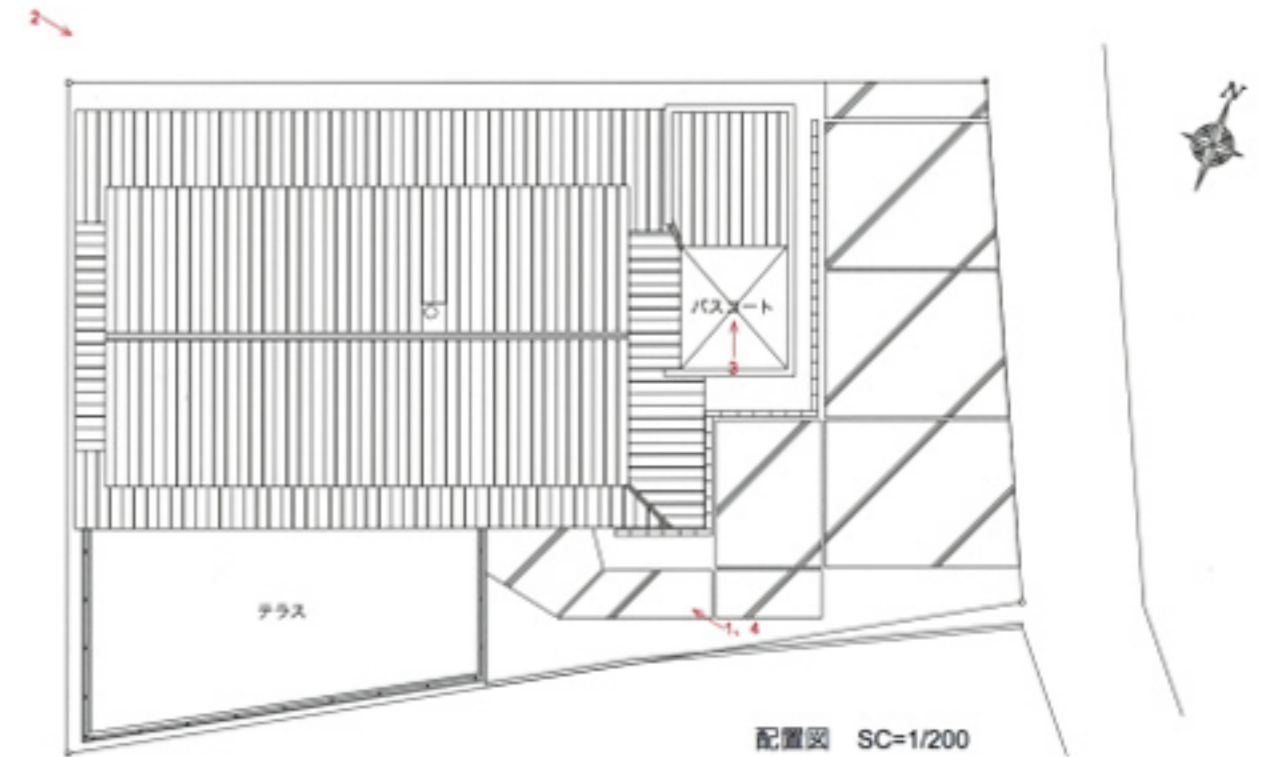
明治時代より代々受け継がれてきた民家。  
耐震補強を施し一部減築しながら、全面的にリノベーションした。

外観は木の架構と土壁であった部分をガルバリウム鋼板で覆い  
外部環境に耐えながらも地域の記憶を引き継ぐ意匠とした。

内部は架構を活かした回遊性と開放感のある間取りとし  
ガラスやタイルといった現代の素材を積極的に取り入れ、過去と現在をつなぐ空間とした。

来客の多い住み手のために吹抜があるLDKの中心には  
キッチンと一体化した全長5.4mのダイニングを配置した。  
また、2階の広々としたワンルームには、約一世紀半にわたり瓦屋根を支えてきた小屋組を  
白い空間の中に軽やかに浮遊しているように見せた。

(データ)  
所在地：愛知県瀬戸市 築年数：約150年 建て方：一戸建て 構造：木造伝統工法  
階数：2階建て 延べ面積：175.20㎡ リフォーム部分の面積：175.20㎡  
工事期間：平成27年6月～平成28年6月 工事完了年月日：平成28年6月30日



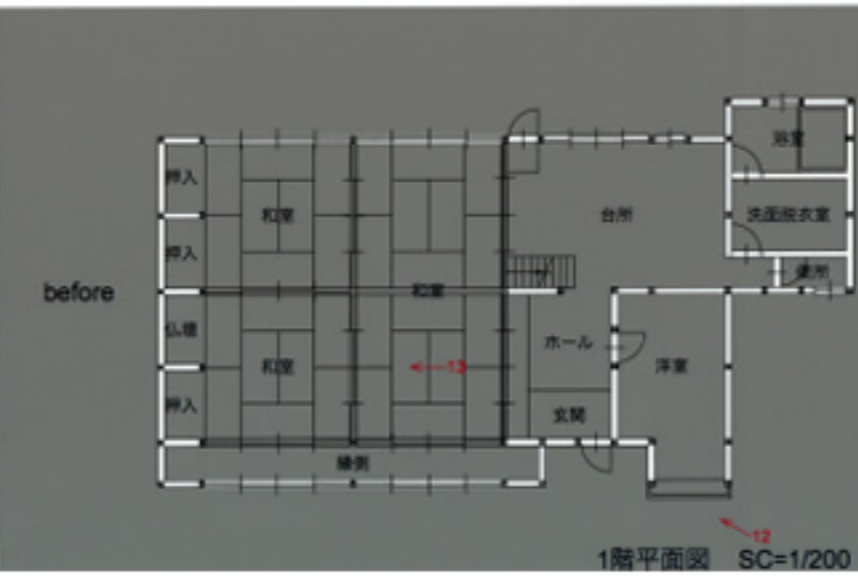
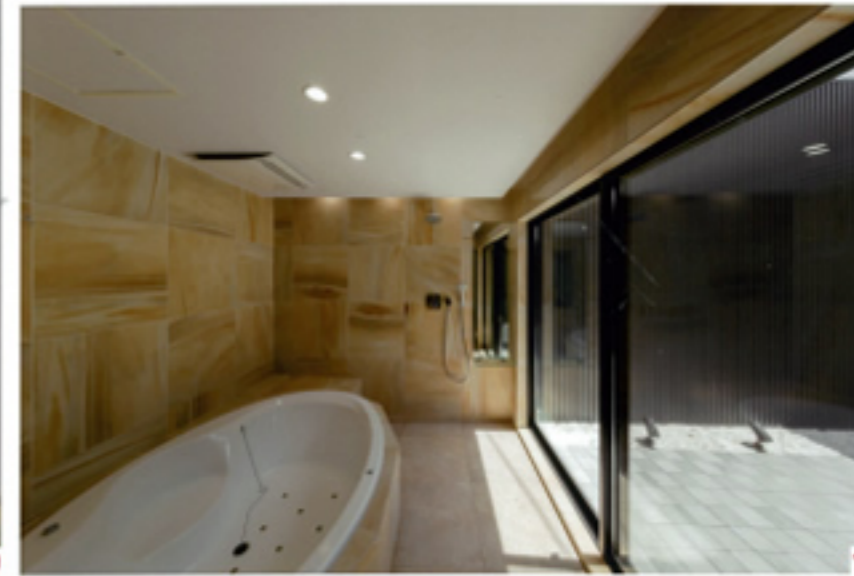
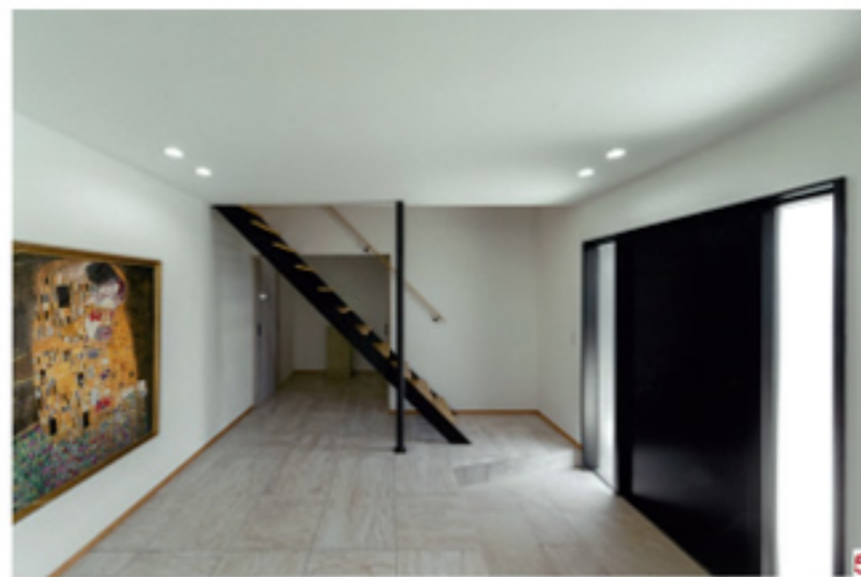
after



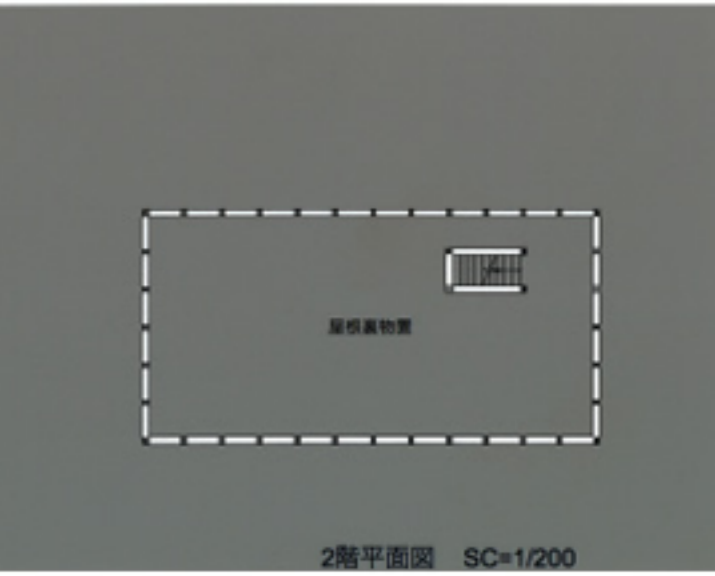
1階平面図 SC=1/200



2階平面図 SC=1/200



1階平面図 SC=1/200



2階平面図 SC=1/200